



CONTENTS

本書の効果的な使い方	4
GET READY!	5

STAGE 1

体系的なシラバスに基づき、
文法事項を配列しています。

Lesson 1	OriHime	スピーチ	人生・生き方 / 時制	13
Lesson 2	Breakfast Makes Perfect	プレゼンテーション	食生活と健康 / 助動詞	21
Lesson 3	Cool Japan	ライティング	日本文化 / 受動態	29
Lesson 4	Save Our Planet	ディスカッション	環境問題 / 不定詞	37
Lesson 5	Volunteer Work for What?	ディベート	ボランティア / 動名詞	45
英語表現のまとめ 1				53
Lesson 6	Another Life I Might Have Had	スピーチ	文学・読書 / 分詞	55
Lesson 7	What Is Our Greatest Invention?	プレゼンテーション	サイエンス・発明 / 比較	63

生徒の発信意欲を喚起する、魅力的な題材を用意しています。

STAGE1・2でそれぞれ、5つの活動（スピーチ、プレゼンテーション、
ライティング、ディスカッション、ディベート）を扱います。

Lesson 8	Discover Japan	ライティング	都市・観光 / 関係詞	71
Lesson 9	Urban Life or Rural Life?	ディスカッション	交通・地域 / 仮定法	79
Lesson 10	Music Without a Pianist	ディベート	芸術・テクノロジー / 接続詞	87
英語表現のまとめ 2				95
Project 1	My Hobby: Boulderling	[Speech]		97
Project 2	A Country I'd Like to Visit	[Presentation]		101
Project 3	Are Zoos Necessary?	[Discussion]		105
Project 4	All Elementary School Students Should Have a Mobile Phone	[Debate]		109
Project 5	E-Book Readers	[Writing]		113
英語表現のまとめ 3				117

付録

1	表現のための文法	119
2	音声スクリプト：Introducing the Topic	133
3	語彙・表現リスト (Vocabulary)	135
4	英語の句読法 (Punctuation)	145
5	英語表現のまとめ [解答]	147
6	索引 (Index)	148



教科書冒頭では、「英語で表現する」ことの意義について考える文章を掲載しています。

本書の効果的な使い方


GET READY!

基本 5 文型、品詞、句や節、英語の音声といった項目について簡単に解説します。

Lesson

全 10 課の構成で、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングについて学習します。

READY

その課の題材に関わる質問が **Think & Talk**、音声を聞きながら答える TF 問題が **Introducing the Topic** です。 は音声が付いていることを示します。

GET

GET で知識を input し、その知識をもとに USE で output (表現) します。

USE

A Going Deeper

1. **Listen** では、**Points** に着目しながら、会話を聞きます。**やり取りの表現**は会話中に出てくる重要表現です。
2. **Data** は、その課の題材に関するグラフや表の情報で、**Points** に着目しながら、下の英文中の空所を埋めます。

B Talk about It

1. **Think for Yourself** では、**Sample Ideas** を参考にしながら、**Your Ideas** で自分の考えをまとめます。
2. **Share Your Ideas** では、会話の下線部分を自分自身の表現に置き換え、太字部分は下の **Tool Box** 内の表現を利用しながら、対話練習をします。

Grammar Focus

GET の会話で使われる文法事項を取り上げ、例文と TRY (練習問題) で理解を深めます。例文は巻末の **付録①** (pp.119-132) に収められています。**One Point** は、学習者が誤りやすいポイントに焦点を当てた正誤問題です。

A Sample Speech/Presentation/Discussion/Debate/Writing

1. **Listen & Take Notes** では、音声を聞いて、その

要点をとらえます。2. **Listen for Details** では、音声をもう一度聞いて、文中の空所を埋め、スピーチやプレゼンテーションなどの構成を確認します。

B Presenting Your Ideas

1. **Generating Ideas** では、自分が発表する内容を指示に従ってメモします。2. **Organizing** では、英文中の空所を埋める形式で、自分の発表原稿を作ります。
3. **Speaking/Presenting/Discussing/Debate/Writing** には、発表する際に気をつけるべきポイントが記されています。**Sound/Writing Tips** は、発音やライティングの注意点です。**Useful Expressions** は、スピーチなどの発表に必要な表現を示します。

Consolidation

Mini Speech/Presentation/Discussion/Debate/Writing では、3 つのお題が与えられます。**Reflection** は、その課の振り返りです。どの程度できたか、3 段階で自己評価します。

Project

① ~ ⑤

① Speech、② Presentation、③ Discussion、④ Debate、⑤ Writing の 5 課構成で、原稿を準備する手順や進行の段取りなどを解説します。**Your Turn** はタスクです。

英語表現のまとめ

① ~ ③

日本語に引きずられて誤りやすいポイントを例題の形式で示します。解答は巻末の **付録⑤** (p.147) に収められています。

〈領域を表すアイコン〉



ペア



グループ



話す(発表)



書く



聞く

二次元コードには、以下の URL からアクセスできます。
<https://tbqr.sanseido-publ.co.jp/04-crown-le1/contents/>



GET READY!



この教科書で学ぶ高校生みなさんへ

この教科書は、高等学校外国語科(英語)の『論理・表現 I』の授業で使用するために編まれたものです。この科目は、英語で表現すること、つまりスピーキングやライティングに焦点を当て、総合的な英語運用力を身につけることを目標としたものです。さまざまなテーマやトピックについて、クラスの人々と話し合ったり議論したりすることを通して、自分の気持ちや考えなどを筋道を立てて適切に英語で表現する力を身につけましょう。

1 さまざまな表現のカタチ

わたしたちの周りには、ことばで表現されたものがたくさんあります。

たとえばニュースです。ニュースキャスターは、どんな事件がどこで起こったのか、今どんな状況にあるのかなど、短い時間で的確に情報を伝えてくれます。わたしたちはそのニュースを聞いて、どうしてそのような事件が起こったのか、その原因について考えることもあります。

また電車に乗っているとき、小説を読んでいる人を見かけることがあるでしょう。みなさんは、どんなジャンルの小説が好きですか。作家は慎重にことばを選び、巧みにことばを使って、読者をハラハラ、ドキドキさせたり、感動させたりします。旅行やグルメの紹介記事、エッセイなども、わたしたちは心を躍らせながら読みます。漫才や落語、それに歌などもわたしたちを大いに楽しませてくれますが、それは実に巧みにことばを使っているからです。これは、スピーチやプレゼンテーションなどでも同じです。限られた時間で、うまく話を組み立てて、声の調子を変えたりしながら、聞いている人を納得させたり、ときには感動させたりします。



友だち同士で雑談したり、海外からの留学生とコミュニケーションをとって仲良くなったりするときも、ことばが重要な役割を果たしています。社会の中で生きていくと、小さなことから大きなことまで、さまざまな問題が起こります。ときには解決策がすぐには見つからない問題もあるでしょう。しかし、わたしたちはディスカッションやディベートなどを通して、考えを出し合い、みんなでその考えを共有しながら話し合っ、解決の糸口を見つけ出していきます。

このように、わたしたちは普段の生活の中で、ことばを使っているいろいろなことを表現しています。しかし相手に自分の気持ちや考えがうまく伝わらなかったり、ことばの使い方を間違っ誤解を招いたり、ときには相手を不快にさせたり怒らせたりすることがあります。ことばを正しく適切に使い、筋道を立てて表現することが、うまくコミュニケーションをとるには必要かつ大切なことだと言えます。



「GET READY!」では、文型・品詞など中学で学んだ知識を振り返り、発信の準備を整えます。

GET READY!



4 表現したいことを〈形〉にのせる：文の要素の並べ方

基本 5 文型

英語では、どのような文の要素を、どのような順番で並べるかによって、異なった意味が作り出されます。ですから、その規則を理解しさえすれば、英語による表現がしやすくなるのです。

1 S+V 〈主語+動詞〉

We swam in the pool yesterday. (私たちは昨日、プールで泳いだ)

- *日本語で「～は…する」と言うときの「～は」の部分が、S (主語) です [S=subject]。
- *日本語で「～は…する」と言うときの「…する」の部分が、V (動詞) です [V=verb]。
- *in the pool (プールで) や yesterday (昨日) は、ここでは V (swam: 泳いだ) を修飾する修飾語です。修飾語は文の主要素 (S, V, O, C) ではないので、これを削除しても文は成り立ちます。

2 S+V+C 〈主語+動詞+補語〉

My brother is a college student. (私の兄は、大学生だ)

- *日本語で「～は…である」と言うときの「…」に当たるものが、C (補語) です。My brother is だけでは完結しない文を補う要素なので、補語と呼ばれます [C=complement]。
- *この文型では S=C が成り立ちます [私の兄=大学生]。

3 S+V+O 〈主語+動詞+目的語〉

He bought a book yesterday. (彼は昨日、本を買った)

- *V (動詞) の後ろに来る要素で、日本語の「～を」に当たるものが、O (目的語) です [O=object]。
- *yesterday (昨日) は、ここでは V (bought: ～を買った) を修飾する修飾語です。

4 S+V+O+O 〈主語+動詞+目的語+目的語〉(2つの目的語を持つ)

My uncle gave me this pen. (おじは、私にこのペンをくれた)

- *日本語で「…に～を与える」と言うときは、「…に」の部分も目的語 (O) となります。
- *「…に」が間接目的語 (O₁)、「～を」が直接目的語 (O₂) と呼ばれます。

5 S+V+O+C 〈主語+動詞+目的語+補語〉

The news made them happy. (その知らせは、彼らを幸せにした)

- *この文でも、The news made them だけでは完結しない文を happy が補っている、happy は補語 (C) となります。
- *この文型では、O と C の間に主述関係が成り立ちます [彼ら=幸せな]。

CHECK 以下の例を参考に、下線部を言い換えて、あなたが尊敬する著名な人物をグループで紹介してみよう。

Wakata Koichi is an astronaut. Everybody knows him. He lived in space for four and a half months. He taught us a lot of things about how to live in space. We call him a hero.



各レッスンはREADY・GET・USEの3ステップで、インプットからアウトプットへ段階的に進む、Scaffoldingがしっかりした構成になっています。

スピーチ

人生・生き方 / 時制

OriHime

STAGE 1

Lesson 1

分身ロボットを開発した吉藤健太朗さん。彼が高校生の頃に描いた夢は何だったのでしょうか。みなさんも将来の夢についてスピーチをしてみましょう。



やり取りと会話のリスニングで、発信に向かうための題材への意識を高めます。

READY



Think & Talk ロボットについて、話し合ってみましょう。

1. Have you ever seen any robots around you? If yes, what kind of robots?
2. Do you want robots talking to you? Why?
3. What kind of robots do you need? Why?



Introducing the Topic 健とメアリーはどうやって話しているのでしょうか。

1. Mary is talking to Ken through OriHime. (T・F)
2. Mary's nickname is OriHime. (T・F)
3. Mary is talking to Ken from her house. (T・F)

p.133

GETでは、主にやり取りを扱います。

STAGE 1 Lesson 1

GET

Robots to Connect People

自己紹介をしよう



A Going Deeper



▶ Going Deeper

1 Listen

健とメアリーが OriHime の仕組みについて話をしています。



Points

- 1 What can OriHime do?
- 2 Who invented OriHime?
- 3 What can we do through OriHime?

Points を
参考にしながら
聞いてみよう



Ken: Wow, look at that! What a cute robot! Hi, robot.
How are you?

Mary: It is my favorite. It can speak, move its head
and wave its arms.

現在形 (be 動詞)

Ken: Who invented it?

5

Mary: Yoshifuji Kentaro did. We call it OriHime.

過去形

Ken: What can you do with it?

現在形 (一般動詞)

Mary: OriHime can do lots of things for us. For
example, we can talk to other people, take
lessons, attend meetings, or work with others
even at home, through OriHime.

10

Ken: It is a good companion for us. I have wanted a
robot like this.

現在完了形 (継続)

やり取りの表現

1 話しかける

- 1. **Hi, Ken. How are you?** (こんにちは、健。元気ですか)
- 2. **Hello, Mary. I'm fine thank you, and you?**
(こんにちは、メアリー。僕は元気だよ。君はどうか?)

2 例を挙げる

- 1. I have many things to do while I'm in high school. **For example**, I'd like to study abroad and enjoy school festivals.
(私は高校時代にやりたいことがたくさんある。例えば、海外留学したり、文化祭を楽しみたい)
- 2. I have various hobbies **such as** bicycle riding, piano and calligraphy.
(私には、例えば自転車乗りやピアノ、書道など、たくさんの趣味がある)

ターゲット文法や機能表現を含むモデル文によるインプットを行います。

STAGE 1 Lesson 1



TASK 前ページのダイアログの内容を踏まえて、あなたなら OriHime を、どんなときに、どんなふうに使ってみようと思うか。下線部を言い換えて、グループで意見交換してみよう。

A: What would you like to do through OriHime?

B: I have many things to do through OriHime. **For example**, I'd like to take lessons when I'm absent because of an injury so that I can participate in the class and understand well.

A: That's a good idea.

年表やグラフ、図表などを読み取り、やり取りの活動につなげます。

2 Data

年表から情報を読み取って、下の 1~3 の空所に適語や数字を入れよう。

Points

- 1 小学 5 年生から中学 2 年生までをどう過ごしたか?
- 2 中学 2 年生の時の出来事は?
- 3 大学在学中に行ったことは?

Short History of Yoshifuji Kentaro

1987	奈良県に生まれる
1998-2001	不登校になり、折り紙や漫画に熱中 (小学 5 年生~中学 2 年生)
2001	虫型ロボット競技大会で地区大会優勝、グランドチャンピオン大会で準優勝
2003	奈良県立王寺工業高校に進学、高校で電動車いすを開発
2004	高校生の科学技術自由研究のコンテスト JSEC で文部科学大臣賞
2005	科学技術のオリンピック ISEF でエンジニアリング部門 3 位受賞
2007	早稲田大学に進学
2010	人と人をつなぐ分身ロボット OriHime を開発

- 1 Yoshifuji Kentaro did not go to () for about three years.
- 2 In (), he took part in robotics contests and won prizes.
- 3 During his college years, he developed a ().



TASK データの内容を踏まえて、あなたならどんなロボットを作りたいか。その理由とともに、下線部を言い換えて、グループで意見交換してみよう。

A: What kind of robot would you like to invent?

B: I would like to make a robot that can encourage me and give me opinions on different issues. I don't have any brothers or sisters, so I want to talk with one.

A: Great. With a robot, you can talk about your innermost feelings.

● innermost feelings 「心の内」



B Talk about It

自分の考えをまとめたうえで、モデル文を参考にしてペアで意見交換を行います。

1 Think for Yourself

話す材料を集めよう

語彙・表現リスト

Sample Ideas を参考に、クラスの友達に「自分自身の紹介文」を書いてみよう。 p.135

Sample Ideas

名前	My name is Kato Ken. Please call me Ken. 私の名前は加藤健です。健と呼んで下さい。
趣味	My hobby is listening to music. My favorite musician is Matsutoya Yumi. 私の趣味は音楽を聞くことです。私のお気に入りのミュージシャンは松任谷由実です。
高校生活でやってみたいこと	I want to be a composer in the future, so I'll study music hard. 将来は作曲家になりたいので、音楽を一生懸命学ぶつもりです。

Your Ideas

名前	My name is
趣味	My hobby is
高校生活でやってみたいこと	I want to

2 Share Your Ideas

ペアで意見を交換しよう

下の例にならって、下線を置き換えて、意見交換しよう。相手が言ったことに対して、参考に応答しよう。 Tool Box



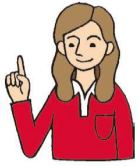
A How do you spend your free time?

B I enjoy listening to music. My favorite musician is Matsutoya Yumi.

A I like her, too. How will you spend your high school days?

B I want to be a composer in the future, so I'll study music hard.

A That's nice.



Tool Box

That's great. / That's fantastic. / That's amazing.
Do your best. / Try your best. / Go for it. / Good luck.



Share Your Ideas

例文音声やモデル動画、文法解説動画など、多彩なコンテンツにアクセスできます。



G.F.

Grammar Focus

表現のための文法（時制）

▶時制（動詞の形）を選択する

1 いつのこと？	過去のこと 〈過去形〉	現在のこと 〈現在形〉	未来のこと 〈will, be going to〉
2 進行中の動作	〈過去進行形〉	〈現在進行形〉	〈未来進行形〉
3 ある時点までの出来事	〈過去完了形〉	〈現在完了形〉	〈未来完了形〉

A 未来を表す will, be going to

- 1 They will graduate next year. (彼らは来年、卒業する) (will : 〜だろう) 【単純未来】
- 2 I will buy a canned coffee. (缶コーヒーを買おう) (will : 〜しよう) 【意志未来】
- 3 It will [is going to] rain tomorrow. (明日は雨になるだろう) (will [be going to] 〜 : 〜だろう) 【推量】
- 4 He is going to go to a university in Tokyo. (彼は東京の大学に行くつもりだ) (be going to 〜 : 〜するつもりだ) 【意図・計画】

*未来のことを表すには、will や be going to の後に動詞の原形を

ターゲット文法の例文は、文法書『コーパス・クラウン総合英語』と連携しています。

TRY 私たちの 20 年後の生活について、下線を言い換えて、例を上げながら説明してみよう。

I think technological advances will greatly change our life in twenty years. For example, we will be able to travel between Tokyo and Osaka in just an hour by train.
●進歩の例 : enjoy a variety of entertainment at home / live longer thanks to medical progress

B これまでの経験などを表す現在完了形 (have+過去分詞)

- 1 He has already gone to bed. (彼は、もう寝てしまった) 【完了・結果 : 〜してしまった】
- 2 I have watched that movie a few times. (その映画は 2〜3 回見たことがある) 【経験 : 〜したことがある / 〜 times : 〜回】
- 3 I have lived in this city for nearly ten years. (私は 10 年間近く、この市に住んでいる) 【継続 : ずっと〜している】
- 4 She has been learning the piano since she was very young. (彼女は幼いころからずっとピアノを習っている) 【現在完了進行形 (have been+現在分詞)】

*過去に起きたことが現在まで影響していることを表すときには、現在完了形を使う。

TRY 海外旅行の経験の有無や行きたい国などについて、下線を言い換えて、ペアで話してみよう。

A: Have you ever been abroad?

B: 1) Yes, I have been to Hawaii with my family. I enjoyed swimming at Waikiki Beach.

2) No, I have never been abroad. I want to go to Greece to visit the Parthenon in the Acropolis some day.

A: That sounds good.

学んだ文法・表現を実践的に活用する課題を設けています。



One Point 「その映画は数年前に見たことがある」を英語にすると？
I (have watched / watched) that movie a few years ago.

USEではレッスンごとに、5つの主要活動のいずれかを扱います。

STAGE 1 Lesson 1

USE

My Dream

将来の夢についてスピーチをしよう



A Sample Speech p.97



1 Listen & Take Notes

聞いて、要点をとらえよう



● 吉藤健太郎さんが昔の自分を振り返ってスピーチをしています。発表を聞いて、メモを取るう。

子供の頃、吉藤さんは…？	
その時に感じたことは？	
それを高校時代にどう克服したか？	
吉藤さんの今の夢は？	

2 Listen for Details

聞いて、構成を確認しよう



● もう一度スピーチを聞いて、スクリプトの空所を埋め、話がどう展開しているか話し合おう。

1 Opening あいさつ / 自己紹介 / スピーチのテーマなど

1 Hello. 2 My name is Yoshifuji Kentaro. Today 3 I'm going to tell you about something I did when I was a (1) . ~するつもりだ

2 Body 考え・理由など

When I was a child, I couldn't go to school for about three years. I felt very (2) in those days. In high school, I got through those difficulties by concentrating on my favorite things. I succeeded in inventing a new type of wheelchair and it won prizes in several (3) . My aim is to invent something useful for lonely people.

3 Closing まとめを述べ、スピーチを締めくくる

I have been working for this purpose ever since. 4 Thank you for listening. 現在完了進行形

まずはモデル文を聞き取り、その内容・構成を確認します。活動に使える便利な表現には、下線を引いて注目させます。

①～④の下線部は p.20 の Useful Expressions を見てね



STAGE 1 Lesson 1

B Presenting Your Ideas

自分の考えをまとめたうえで、「型」に当てはめる形で無理なくアウトプット活動を行えます。

1 Generating Ideas

話す材料を考えよう

● 「将来の夢」についてスピーチをしてみよう。子供の頃からの夢や、将来どんなことをしたいか、そしてその理由についてもメモしよう。

語彙・表現リスト

p.135

1 自分の将来の夢 ☐

2 考え・理由など ☐

3 まとめ ☐

2 Organizing

話の構成を考えて、英語にしてみよう



● 吉藤健太郎さんのスピーチも参考にして、あなたの将来の夢について、相手に伝わるように構成を工夫して、スピーチの原稿を英語で作成しよう。

1 Introduction あいさつ / 自己紹介 / スピーチのテーマなど

Hello. My name is .
Today I'm going to make a speech about my dream.

2 Body 考え・理由など

My dream is to in the future.
I have been interested in since I was a child.
I want to .

3 Conclusion まとめを述べ、スピーチを締めくくる

I will do my best to realize my dream.
Thank you for listening.

3 Speaking

発表しよう



Q&A

- 1 自分の言いたいことが相手に伝わるように工夫して、ペアで発表し合ってみよう。
- 2 友達の発表を聞いて、メモを取ろう。
- 3 友達の発表を聞いて、分からなかったことなどを質問してみよう。

例 Why were you interested in robots?
How will you make your dream come true?

「Project」では、5つの主要活動を具体例も交えて詳細に解説。本課の活動の際に随時参照できます。



▶ Sound Tips
▶ Useful Expressions

STAGE 1 Lesson 1

Sound Tips 強勢・音節

- ◆ 強勢と音節の感覚を身につけよう。語の強勢のある音節は、強め・長め・高めに発音します。太字の音節に強勢を置いて言ってみよう。
 - **name**, **talk** / **won**-der, **prac**-tice, **hob**-by, **wheel**-chair, **to**-day, **in**-vent, **at**-tend, **suc**-ceed / **fa**-vo-rite, **lone**-li-ness, **dif**-fi-cult, **de**-vel-op, **con**-clu-sion / **com**-pe-ti-tion, **ed**-u-ca-tion
 - My **hobby** is **listening** to **music**.
- ◆ 【発音】[f]と[v]の練習
felt, difficult, invent, develop, favorite

Useful Expressions スピーチに必要な表現

- 1 あいさつ
Hello. / Good afternoon. (こんにちは)
- 2 自己紹介
1. My **name** is Yamada Taro. (私の名前は山田太郎です)
2. Let me **introduce myself**. (自己紹介させてください)
- 3 スピーチのテーマを述べる
Today I'm **going to tell you about** my hobby. (今日は私の趣味についてお話しします)
- 4 締めくくりのあいさつ
Thank you for **listening**. (ご清聴、ありがとうございました)

Consolidation

課末には音声面の確認、活用表現例に加え、補充のミニ活動を用意。評価につながるパフォーマンステストにも使えます。

Mini Speech

自分の好きなこと、尊敬する人物、行ってみたい場所の中から1つ選び、その理由をまとめて短いスピーチをしよう。

- 1 自分の好きなこと
(my favorite thing)



- 2 尊敬する人物
(a person I respect)

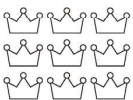


- 3 行ってみたい場所
(a place I want to visit)



Reflection この課を振り返って、3段階で自己評価し、今後の目標を立てよう。

- 1 聞き手に分かりやすいように、大きな声で発表するよう心がけた。
- 2 スピーチに必要な表現を使おうと心がけた。
- 3 言いたいことが聞き手に伝わるように表現を工夫した。



Project 1 Speech

My Hobby: Bouldering



- 「目的をもって人前で話をする」をパブリック・スピーキングと呼ぶが、パブリック・スピーキングにはスピーチとプレゼンテーションがある。ここでは、まずスピーチについて理解しよう。

スピーチを作成する手順

STEP I 分析と準備 (Analysis and Preparation)

- 1 話題 (Topic)
 - あなたが興味を持っていて、楽しく話することができる話題のリストを作成する。
 - 聞き手が興味を持つ、あるいは聞き手の興味を喚起できそうな話題を選ぶ。
- 2 内容 (Knowledge)
 - 話す内容について、キーワード (key words) をできるだけ多くメモする。
 - キーワードを取捨選択し、関連するものをまとめる。
 - 事実 (fact) と自分の意見 (opinion) を区別し、話す内容を決める。
- 3 制限時間 (Time Limit)
 - 制限時間を把握する。
- 4 聞き手 (Audience)
 - 聞き手が、どのような集団 (興味・年齢・人数など) であるかを把握する。

STEP II 構成 (Organization)

- 以下の構成を念頭に原稿 (draft) を書こう。
- 1 序論 (Introduction)
 - 聞き手に自分を印象づけ、話題について自分の考えを述べる。
 - ① 自己紹介 (省略する場合もある)
 - ② 聞き手の興味を喚起する
 - ③ 話題の紹介をする
 - 2 本論 (Body)
 - 主張を支えるポイント (事実や考え) を述べる。
 - 3 結論 (Conclusion)
 - スピーチを締めくくる。
 - ① 短いスピーチの場合: Thank you for listening. / Thank you very much for your attention. などで結びとする。
 - ② 長いスピーチの場合: 話の概要や一番主張したいことなどを別の表現でまとめ、それをもう一度聞き手に伝え、最後に①の「短いスピーチ」の場合のような表現を加えて締めくくる。



▶スピーチの具体例

Project 1 Speech

スピーチの具体例

- 「自分の趣味」について述べる以下のスピーチを参考にしながら、あなた自身の趣味についてのスピーチをしましょう。

My Hobby: Bouldering

Good morning, everyone. Today, I'm going to talk about what I'm most interested in now. It's bouldering.

Bouldering is an indoor climbing sport, and is sometimes called free climbing. We climb the wall by grabbing colorful projections on the wall one by one. Now let me tell you two fantastic aspects of this sport.

First, it's thrilling. Every time I reach out my hand to a projection and lift myself up, I feel like Spider-Man!

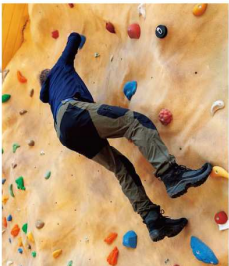
Second, it gives me a sense of achievement when I get to the top of the wall. I feel like I'm on top of the world.

I really like bouldering. It's now an essential part of my life. Why don't you come to our club and do it too? Thank you for listening.

4. projection 「突起」 6. reach out ～ 「(手を) 伸ばす」

和訳

私の趣味：ボルダリング／おはようございます。今日は私が今、一番興味を持っていることについてお話ししたいと思います。それはボルダリングです。／ボルダリングとは室内の登攀競技で、時にフリークライミングとも呼ばれます。私たちは、壁の色とりどりの突起を1つずつつかんで壁を登ります。さあ、この競技の2つの素晴らしい点をお話ししましょう。／第1に、スリルがあることです。突起に手を伸ばして自分の身体を引き上げる度に、自分がスパイダーマンになったような気がします。／第2に、壁の頂上まで登ると達成感が得られることです。自分が世界の頂点にいるかのように感じます。／私はボルダリングが大好きです。それは今や私の生活の一番重要な部分となっています。あなたも私たちのクラブに来て、ボルダリングを楽しみませんか。ご清聴、ありがとうございました。



活動の具体例と、活用表現例を提示。ここでは聞き手側が使える表現例も提示しています。

Project 1 Speech

Useful Expressions

1 序論 (Introduction)

- あいさつ ● Good morning/afternoon. (おはようございます／こんにちは)
- 自己紹介 (省略可) ● My name is ～. (私の名前は～です)
- 聞き手の注意を引きつける ● Have you ever heard of ～? (～について聞いたことがありますか)
- トピックを述べる ● Today I'm going to talk about ～. (今日は～について話します)
- 主張を述べる ● I'd like to tell you that ～ (～と言いたいと思います)

2 本論 (Body)

- メイン・アイデアを提示する ● Let me give/tell you three reasons. First, ～. Second, ～. Third, ～. (3つの理由を挙げます。第1に～、第2に～、第3に～)
- 次のポイントに移ることを伝える ● On the one hand, ... On the other hand, ～ (一方～、他方～) / However, ～ (しかしながら～) / In [By] contrast, ～ (対照的に～)

3 結論 (Conclusion)

- 自分の意見を再び述べて、スピーチを締めくくる ● In conclusion, I would like to say that ～. (結論として、～と言いたいと思います)
- 挨拶 ● Thank you for listening. (ご清聴、ありがとうございました)

Question Corner (聞き手から)

1 質問したい

- Let me ask you a question. My question is about ～. (1つ質問をさせてください。私の質問は～についてです)

2 話し手が言ったことの意味を確認したい

- You said/mentioned ～. What do you mean by that? (～と言われましたが、それはどういう意味ですか)

3 詳細な説明を求めたい

- Can you explain more about ～? (～について、もう少し説明してもらえますか)
- Can you give me a few examples of ～? (～の例を2、3挙げてもらえますか)

4 理由・根拠について質問したい

- You said/mentioned ～. Why do you think so? (～と言われましたが、なぜそう思うのですか)

5 話し手の言ったことを確認し、自分の意見を述べる

- You said/mentioned ～, but I think ... because ... (～と言われましたが、私は・・・だと思っています。なぜなら～だからです)

Project 1 Speech

Your Turn

「型」に当てはめて自分の原稿を作ること
で、スムーズに発信活動を行えます。

p. 98 のスピーチを参考にしながら、以下の①～⑤にしたがって、あなたの趣味を紹介しましょう。

- ① あいさつ・トピックの提示：Good morning, everyone. Today, I'm going to talk about what I'm most interested in now. It's _____.
- ② その趣味の概略：_____.
- ③ その趣味の特徴：Let me tell you two fantastic aspects of _____.
● 特徴 1：First, _____.
● 特徴 2：Second, _____.
- ④ 結び：I really like _____. Why don't you _____?
- ⑤ あいさつ：Thank you for listening.

発表時の注意点

発表する際には以下の点に注意しよう。

1 ボイス・コントロール (Voice Control)

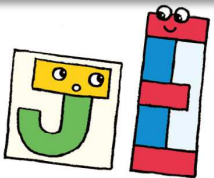
- 発音 (Pronunciation)
● 声の大きさ (Volume)
● 話す速さ (Speed)
● 声の抑揚 (Intonation)
● 話し方 (Delivery)
- Pronounce words as clearly and as smoothly as you can.
(はっきり流暢に)
● Speak 1.5 times louder and slower than in a normal conversation. (いつもより大きな声で、ゆっくりと)
● Say words and phrases at a varied pitch so that the speech has pleasing intonation. (声に高低の変化を持たせて)
● Speak conversationally, as if talking to the audience.
(聴衆に話しかけるように)
● Don't simply read your manuscript; use your prompt cards.
(原稿を読むのではなく、メモを活用して)

2 ボディ・ランゲージ (Body Language)

- 姿勢 (Posture)
● アイ・コンタクト
(Eye Contact)
● ジェスチャー (Gestures)
● 表情
(Facial Expressions)
● 態度 (Demeanor)
- Stand up straight and keep your head up. (姿勢よく、顔を上げて)
● Look directly at the audience. (しっかり聴衆を見て)
● While speaking, shift your glance from one listener to another. (聴衆一人一人を見ながら)
● Use appropriate gestures and facial expressions.
(ジェスチャーや表情を適切に使って)
● Be relaxed and confident. (リラックスし、自信を持って)

課間のコーナー「英語表現のまとめ」では全3回で、
よりよい英語表現のための注意点を示しています。
簡単なチェック問題も用意されています。

英語表現のまとめ 1



日本語と英語の
発想の違いに注意しよう

1 動作動詞と状態動詞

- Q：「私は彼女の住所を知っています」を英語で表現したい場合、「I am knowing her address.」でよいでしょうか。
- A：「知っている」「持っている」といった〈状態〉の意味を表す動詞は、ふつう進行形にならないので、「I know her address.」と表現します。

2 つの語句のうち、適当なほうを選びなさい。

1. 私は両親を愛しています。
I (a. love b. am loving) my parents.
2. 山田先生は外車を所有しています。
Mr. Yamada (a. owns b. is owning) an imported car.
3. 妹は音楽部に所属しています。
My sister (a. belongs b. is belonging) to the music club.

TASK あなたが所属している部活動、その部に入った理由や目標などについて、下線部を言い換えて、グループでやり取りしよう。

- A: What club do you **belong** to?
- B: 1) I **belong** to the shogi club and practice hard every day. My dream is to participate in an international tournament.
2) I don't **belong** to any club. Though I'm busy with cram school, I'd like to join the soccer club.
A: Oh, that would be great.

2 自動詞と他動詞

- Q：「彼女は質問をするために、職員室に入りました」と言いたいとき、「She entered into the teachers' room to ask a question.」でよいでしょうか。
- A：「～に入る」の意味では enter は他動詞なので、直後に目的語となる名詞（この場合は the teachers' room）を置いて、「She entered the teachers' room to ask a question.」とします。

2 つの語句のうち、適当なほうを選びなさい。

1. 彼は私のメールにすぐに返事をくれた。
He (a. replied b. replied to) my e-mail immediately.

One Point 「彼は床の上に横になった」を英語にすると？
He (laid / lay) down on the floor.


巻末の例文集には、本課で扱っている文法項目以外の**補充例文**も掲載しています。

Lesson 4 不定詞 (p.37)

A 名詞的用法

- ① **To reserve** a flight on the Internet is easy. (インターネットで飛行機便を予約することは簡単だ)
〔不定詞が主語 (S) / 一般に形式主語の it を使った、以下の②の形式で表現される〕
- ② **It is easy to reserve** a flight on the Internet.
〔インターネットで飛行機便を予約することは簡単だ〕 (不定詞を受ける形式主語 It)
- ③ I found **it easy to reserve** a flight on the Internet.
〔インターネットで飛行機便を予約することは簡単だと分かった〕 (不定詞を受ける形式目的語 it)
- ④ Her dream is **to be** a novelist. (彼女の夢は小説家になることだ) (不定詞が補語 (C))
- ⑤ I want **to study** abroad someday. (いつか留学したい) (不定詞が目的語 (O))

B 形容詞的用法

- ① They need **someone to look after** their dog while they are away.
〔彼らは留守中に犬を世話してくれる人を必要としている〕 (someone は不定詞 (to look after ...) の意味上の主語)
- ② Would you like **something to drink**? (飲み物はいかがですか)
〔something は不定詞 (to drink) の意味上の目的語〕
- ③ There was **nobody to talk to** at the party. (パーティーでは話し相手がいなかった)
〔句動詞 (talk to) の不定詞 / nobody は、前置詞を含む不定詞 (to talk to) の目的語〕  (p. 41)
- ④ I don't have **time to go shopping**. (買い物に行く時間がない)
〔不定詞 (to go shopping) が time を説明〕

C 副詞的用法

- ① She went to the library **to study** for the term examinations.
〔彼女は期末試験の勉強をするために、図書館に行った〕 (目的：～するために)
*in order to ～ (～するために)、so as to ～ (～するように)
- ② My grandparents lived **to be** over ninety years old. (祖父母は 90 歳過ぎまで生きた)
〔結果：…して、その結果～する〕
- ③ We were all surprised **to hear** that he was successful. (彼が合格したと聞いて、我々は皆驚いた)
〔感情の原因：～して (驚く)〕
- ④ You were careless **to lose** the purse. (小銭入れを失くすとは不注意だったね)
〔判断の根拠：～するなんて〕
- ⑤ His handwriting is **difficult to read**. (彼の字は読みにくい)
〔difficult [easy] to ～：～するのに難しい [易しい] / この用法では「難易」を表す形容詞がよく使われる〕

D SVO+to+動詞の原形

- ① I **want you to take off** the bottle cap. (あなたにボトルのふたを開けて欲しい)
〔want+O+to ～：O に～して欲しい〕
- ② The teacher **told us to make** pairs. (先生は私たちにペアになるように言った)
〔tell+O+to ～：O に～するように言う [命じる]〕
- ③ My parents **allowed me to stay** with my friend. (両親は私が友人宅に泊まるのを許可した)
〔allow+O+to ～：O が～するのを許す〕
- ④ We **thought her to be** an actress. (私たちは彼女を女優かと思った)
〔think/believe+O+to be ～：O が～であると思う〕

各課の活動で使える**語彙・表現リスト**を付録に掲載。生徒の発信の幅を広げます。

付録 3 語彙・表現リスト (Vocabulary)

Lesson 1 pp.13-20

OriHime

● 中学時代の思い出

中学時代に ▶
(when I was) in/at junior high school
クラブ活動 [部活動] ▶ club activities
体育会系クラブ ▶ athletic/sports club
文科系クラブ ▶ cultural club
合宿 ▶ training camp
体育祭 ▶ athletic meet; field/sports day
文化祭 ▶ school festival
英語劇に出る ▶ take part in an English play
修学旅行でニュージーランドにホームステイする ▶ stay with a family in New Zealand during the school trip
ALT と話すのを楽しむ ▶ enjoy talking with an ALT (assistant language teacher)
体育祭のためにダンスの練習をする ▶ practice dancing for the athletic meet
スーパーマーケットで 1 日社会体験をする ▶ have 1-day work experience in a supermarket

● 高校時代にやってみたいこと

新しい友達を作って様々な考え方を学ぶ ▶ make new friends and learn various ways of thinking
古文の勉強を頑張り、昔の人の考えを知る ▶ study Japanese classics hard and know the notions and ideas of Japanese people from long ago
バレーボールの練習を続け、大会に出る ▶ keep practicing volleyball and participate in the tournament
観光ガイドなどのボランティア活動に参加する ▶ be involved in volunteer activities such as visitors guide

● 趣味・好きなこと

趣味 ▶ hobby; pastime; interest
本を読む ▶ read books
映画を見る ▶ watch movies
カラオケに行く ▶ go to karaoke
買い物 [釣り; 泳ぎ; キャンプ; サイクリング; ジョギング; スキー; スケート; ノードウォッチング; ハイキング; ボウリング] に行く ▶ go shopping [fishing; swimming; camping; cycling; jogging; skiing; skating; bird-watching; hiking; bowling]
絵を描く ▶ paint/draw pictures
絵画を鑑賞する ▶ look at pictures/paintings
写真を撮る ▶ take photos/photographs/pictures
音楽を聞く ▶ listen to music
ピアノ [ドラム; フルート; ギター; バイオリン] を演奏する ▶ play the piano [drums; flute; guitar; violin]
編み物 [ガーデニング; 料理] を楽しむ ▶ enjoy knitting [gardening; cooking]
囲碁 [将棋; チェス; トランプ; テレビゲーム] をする ▶ play go [shogi; chess; cards; video games]
柔道 [剣道; 空手; 合気道; レスリング] をする ▶ do/practice judo [kendo; karate; aikido; wrestling]
サッカー [テニス; バドミントン; 野球; ラグビー; 卓球] をする ▶ play soccer/football [tennis; badminton; baseball; rugby; ping-pong/table tennis]

● 将来の夢

科学者 [教師; 医師; 政治家] になる ▶ become a scientist [teacher; doctor; politician]
マラソンに出場 [完走] する ▶ run/do [complete] a marathon
オリンピックに出場する ▶ participate [take part] in the Olympics

金メダルを取る ▶

get/win a gold medal
人類に役立つものを発明する ▶ invent useful things for human beings
世界平和のために働く ▶ work for world peace

● 職業

職業 ▶ occupation; vocation; profession
会社員 ▶ office worker
事務員 ▶ office clerk
公務員 ▶ civil/public servant; government/public worker/employee
政治家 ▶ politician; statesman/stateswoman
官僚 ▶ government official
弁護士 ▶ lawyer
裁判官 ▶ judge
検察官 ▶ prosecutor
警察官 ▶ police officer; policeman/policewoman
刑事 [探偵] ▶ detective
消防士 ▶ fire fighter
会計士 ▶ accountant
僧侶 [聖職者] ▶ priest
料理人 ▶ cook/chef
喫茶店経営者 ▶ café [coffee shop] owner
パン屋 ▶ baker 〈人〉/bakery 〈店〉
ケーキ屋 ▶ patissier [pastry chef] 〈人〉/cake shop/store 〈店〉
デザイナー ▶ designer
プログラマー ▶ computer programmer
画家 ▶ painter
アニメーター ▶ animator
漫画家 ▶ manga artist; cartoonist
イラストレーター ▶ illustrator
花屋 ▶ florist 〈人〉/flower shop 〈店〉
販売員 ▶ salesperson; salesman/woman
トリマー ▶ groomer
ブリーダー ▶ breeder
漁師 ▶ fisher; fisherman